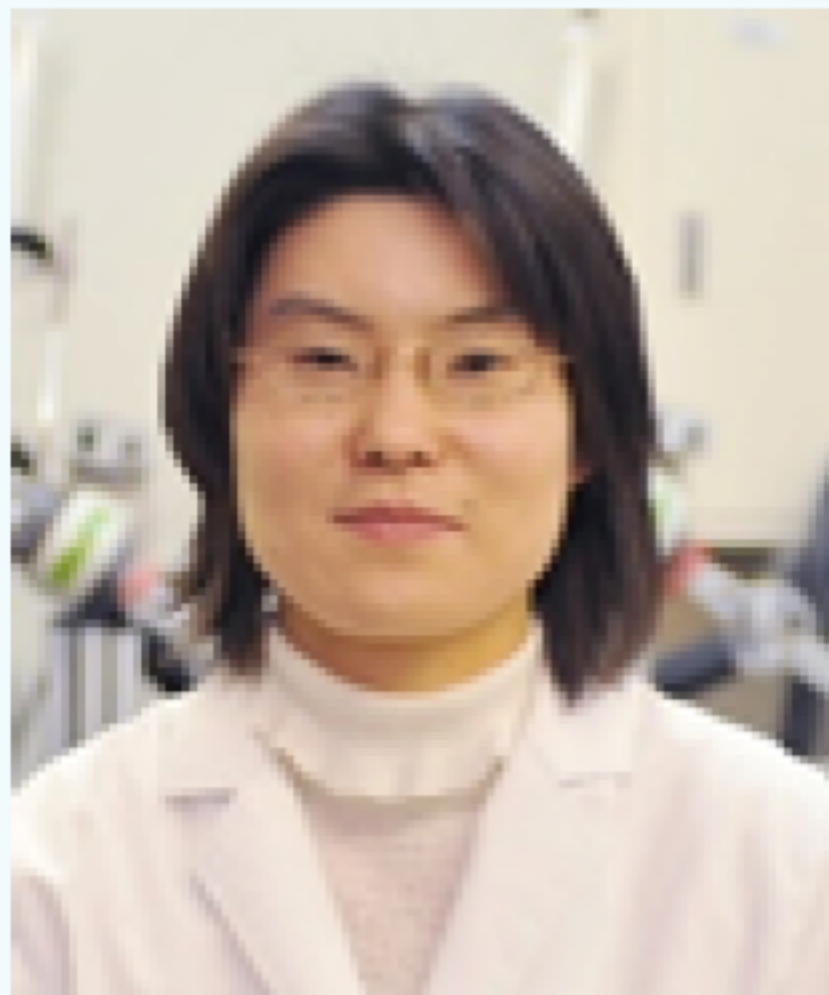


# 血中滞留性・温度応答性を示すデンドリマーの水和挙動と機能との相関



児島 千恵

大阪府立大学・准教授

樹状高分子であるデンドリマーは、内部空間や末端に薬物を担持できるため、ドラッグデリバリーシステム（DDS）への応用が期待されています。私は、DDSのためのナノキャリアとしてポリエチレングリコール（PEG）や熱応答性部位で修飾したデンドリマーを製作し、その血中滞留性や細胞との相互作用の温度による制御について

研究してきました。細胞の約 70%は水ですので、DDS ナノキャリアと水との相互作用の理解は極めて重要です。

本研究課題では、上記のデンドリマーナノ粒子の水和状態を調べ、ナノ粒子の機能との相関について明らかにします。

